

水稲
野菜
果樹

有機酸・水溶性カルシウム ユニカルX

15K入

pH=8、弱アルカリ性



- 有機酸類は、それ自体が価値ある有機栄養として移行・吸収される。
- カルシウム・イオン Ca^{++} はキレート溶解により、微生物や植物にスムーズに吸収される。



- 細胞分裂の活性化、細胞膜の強化(ペクチン酸カルシウム)による根の健全成育
- 根圏微生物の活性化による各種栄養、特に燐酸の肥効促進。



- 作物の充実度の向上、組織の緻密化、軟弱徒長の防止。
- 葉はやや小ぶりで厚く立ち、光沢があり、莖葉に弾力がある。
- 健全生育の促進、耐病性・耐寒性の強化。
- 耐病根の発達強化で品質の向上。

製造元 栄研産業株式会社

ユニカルLX

特殊肥料 届出 愛知県667号

【含有成分】 (%)

カルシウム	25.0	多糖類・有機酸	7.4
ケイ酸	6.5	マグネシウム・マンガン等	3.8

【使用法】 (10アール当り)

水 稲	追肥 反当3~4袋 (出穂45日前)、元肥3袋。
根 菜 (大根、ニンジンなど)	ウネ作り前に3~4袋を散布。(土寄せ時2~3袋)
葉 菜 (白菜、レタス、 法蓮草など)	4袋を表面散布、またはウネ作り前。(結球始め3袋)
短期果菜 (キュウリ、スイカ、 メロンなど)	元肥時に4~6袋を散布。
連続収穫の 長期栽培・果菜 (トマト、キュウリ、 ナスなど)	元肥時に4~6袋を散布してウネ作り。 ----- 栽培途中で、2~3袋をウネ間 (通路) にまき、灌水。
ブ ド ウ	肥大中期に3~6袋。(礼肥時~春肥時に3袋)
ナシ、モモ、 カキ、リンゴ	(礼肥時~) 春肥時に3袋、梅雨前か肥大中期に3袋。
ミ カ ン 類	肥大中期に3袋 (~6袋)、礼肥時~春肥時に3袋。
花 卉	元肥または追肥時に3袋。

※表層(またはウネ肩)に散布しておけば、徐々に溶けて染込む。初期に旺盛に育てながら少しずつカルシウム、燐酸を効かせて行くために表層散布がよい。
全層混和の場合はバランスを崩さないように窒素、カリなどの施肥をすること。

育苗

床土 育苗用培土には、5~8%の割合で混和する。

苗 育苗途中で、苗の上から散布する。ポットの場合1鉢10~30g。